

学 校 便 り

E-mail:c-hiki@ed.city.yamato.kanagawa.jp

http://ed2.city.yamato.kanagawa.jp/c/hiki/index.htm



「報 告」・・・巨大地震の時の引地台中・・・

校長 柿本隆夫

3月11日、14時46分頃。日本中のすべての人に、悲しい記憶として忘れられない被害をもたらした巨大地震が起きました。

今年度最後の学校便りですが、その時の本校の状況を報告し、見えてきたいいくつかの課題を整理しておきたいと思えます。

その日は3年生の教員を中心に、私を含めて10名ほどの教員が柳橋小学校に出向いて、6年生の子どもたちに、体育館や理科室などで出前授業をおこなっている最中でした。

一方、引地台中では、ちょうど帰りの学活終了のチャイムが鳴り終わった後で、1年生が下校し始めたところでした。2年生は、学活がどのクラスも長引いていたため、全員が4階の教室にいました。

そのとき、突然校舎が揺れ始めました。大きな揺れが長く続く中、教員たちは小学校でも中学校でも、机の下への避難をすばやく指示したようです。子どもたちはパニックになることもなく、比較的冷静に安全確保の行動を取れたという報告を受けています。

急いで中学校に戻ると、余震に備えた警戒態勢が継続されていました。教室を出ていた子どもはグラウンドに集まり、教室にいる子どもたちは、その場を動かずにいました。

しばらく様子を見てから一斉に下校させたわけですが、そのときには、ショックで泣いていた女の子もいたそうです。テレビでは、津波の映像がその後リアルタイムで放送されていました。

しかし、家に帰っても安心できなかった子どもたちが何人もいたようでした。電車や交通機関が止まり、家族が家に戻ってこられなかったからです。両親も兄弟も帰ってこない中、ひとりで朝を迎えなければいけなかった子どもたちがいたことを地震の次の日に知りました。市内にある県立高校では、電車が止まったために帰れない生徒が多数いて、その日は学校に泊まったと、後になって聞きました。

生徒を下校させた後に職員全員で校舎の被害状況を点検すると、校舎のつなぎ目のエキスパンション（衝撃吸収のための構造部分）に強い力がかかったようで、2棟西側が東側に押されて、天井がゆがんだり防火シャッターが斜めになったりしていましたが、安全上に問題はありませんでした。食器棚から食器が飛び出して割れたことが、一番の物的被害でした。

13日（日）の夜に市内一斉の臨時休校が決まり、登校は15日火曜日からとなりました。また、停電や物資不足が予想されることから、年度内の給食は中止になり、午前授業となったのです。

地震から4日経ち、子ども達が地震後初めて登校した日の朝は、緊急に全校集会を開き、地震発生の際の各自の行動を振り返りながら、東北の被災地を思いやる話しをしました。2校時目は、朝会を引き継ぐ形で、クラスで担任が話をしました。

市内のあちこちで大渋滞が見られ、コンビニからは食料品が消えていく現実を、子ども達なりに感じ取っていたようです。こうしたパニックに近い非常事態の中、どのように生活していくことが正しいのかが問われ始めていました。もちろん今でも問われています。

こうした経過の中、学校としていくつかの課題がはっきりと浮かび上がりました。

◇地震警報発令後や地震発生後、地域に異常がなければ緊急下校させるというマニュアルを見直す必要がある。（理由 家庭でひとりでいる子どもが多い）

◇下校させられない事態に対する備えが学校にない。最低限の備えが必要である。
(食料や水、毛布など)

◇災害時、安全を確保しながらも、地域の避難行動などで、中学生ができることを具体的に検討する必要がある。

「お互いの命を守るために何をすべきなのか」をもう一度厳しく振り返ることが必要になっているようです。

昨年ハイチ地震の時は、「ああ、かわいそう。」って思ってたぐらいの他人事のような感じだったけど、自分のおばあちゃん達がいるってことで、やっと自分のことのように感じられた自分が恥ずかしい。自分たちでできることといえば、節水・節電・募金ぐらいしかできないけど、被災地のかたが少しでも楽になれるよう努力したい。一日でもはやい復興を願ってます。

(2学年 社会科の授業で「今回の地震に対する世界の視線」を勉強した感想から)

テレビで見ていると、被災者の人々が大変苦勞していて、もし小さい子とかが両親と離ればなれになってしまうと、とても心配だと思う。もしそれが、自分に起きたらけっこうストレスがたまると思う。だけど被災者の人々は、そんなストレスなどをみんなで支えていっているのだから、すごいと思った。自分に、もしそんなことが起きてしまったら、すごく悲しいし、すごく大変だと思った。

今、私たちにできることは、節電をするのが一番だと思います。いま神奈川では、地震の影響で、ガソリンや食品、電池などが売り切れているのに、それ以上に被災地では、食べ物の不足やガソリンの不足がすごいので、私たちも協力しないとイケない。食べ物を買いに行っても、カップ麺、カレーライス、ガスコンロがなく、私たちも大変不便なのに、被災地では、まだ助けを求めている人もいますので、早く助けてあげたいです。

(1学年 学活で担任の先生の話「想像する」を聞いての作文から)

東日本大地震により命を落とされた方々のご冥福を、心よりお祈り申し上げます。

大和市による被災支援・・・支援物資の受け付けをおこなっています

日時 3月22日(火)～31日(木) 午前9時～午後3時

場所 大和スポーツセンター陸上競技場雨天練習場

支援物資の条件

◇新品および未使用のものに限る

(タオルとボールペン以外は、箱や袋等が未開封のもの)

◇サイズがあるものは、サイズごとに分けてください。

◇タオルと紙おむつは、種類ごとに分けてください。

募集する支援物資

- ・タオル
- ・トイレットペーパー
- ・紙おむつ(大人用 子ども用)
- ・生理用品
- ・石けん
- ・ごみ袋
- ・ラップ
- ・マスク
- ・ウェットティッシュ
- ・ボールペン

4月の予定

5日(火)	着任式・始業式・入学式	12日(火)	2年保護者会
6日(水)	離任式・対面式	13日(水)	1年保護者会
7日(木)	学年写真撮影 部活動紹介	14日(木)	内科検診
8日(金)	給食開始(予定)	18日(月)	部活動保護者会
11日(月)	平常授業開始 3年保護者会	21日(木)	家庭訪問開始 (～27日まで)